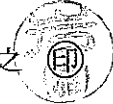


平成31年 4月 2日

松江市議会議長 森脇 勇人 様

会 派 名 真政クラブ

経理責任者名 岩本 雅之



平成30年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 真政クラブ

1 収 入

政務活動費 900,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研 究 研 修 費		
調 査 費		
旅 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	129,600	JAMP 時事行財政情報誌
広 報 費	805,009	真政クラブ会報 按分率93%
広 聴 費		
合 計	934,609	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(様式4-1)

平成30年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号			
使途項目	資料購入費		
使途内容			
調査年月日 (購入年月日)	平成30年 4月 27日(金) ~ 平成 年 月 日()		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費	円	円
		円	円
		円	円
		円	円
	調査費	円	円
		円	円
		円	円
		円	円
		円	円
	64,800 円	64,800 円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合計額	64,800 円	64,800 円	
備考			

(注意)
研究研修費、調査費、旅費、広報費(広報活動)、広聴費(意見聴取会)等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 真政クラブ 】

領収書貼付用紙

使 途	資料購入費
<p>【貼付欄】</p> <p style="text-align: center;">別紙のとおり</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名

【 真政クラブ 】

請求日	平成 30. 4. 1 日
請求番号	8517877

請求書

松江市議会
真政クラブ 様

請求金額 **64,800 円**
(消費税等 4,800 円を含む)

請求期間 平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日



〒104-8178
東京都中央区
株式会社
代表取締役
印
電 03-5561-0311



種類	[配信先]	数量	月 額	月数	請求金額	消費税等
JAMP(時事行財政情報 モニタ)	基本料金	1	10,000	6	60,000	4,800
合 計					60,000	4,800

この件についてのお問合せは、 松江支局

までお願い致します。(TEL 0852-21-3594)

ご利用明細

ただいまのご利用明細をお確かめのうえ大切にお持ち帰りください。なお、裏面のご案内をあわせてご覧ください。

年 月 日 毎度ご利用いただきありがとうございます。ごさいます。

30-04-27

取扱店番	機番	受付番号	取引	お取引内容
0002	51	0041	K	振込
銀行番号	支店番号	口座番号		
お取扱紙幣		お取扱硬貨	お取引金額	
万円	5千円	千円	¥64800	
銀行使用欄	記号	お取引後の元帳残高		
0168300859		*****		
【ご案内】				
フリコミサキ				
カシノシマツウシツシキヤマ				
シツセイクラブ サマヨリ				
キヌウリヨウ ¥648				
TEL				

※この明細票はかならずお持ち帰りください。

平成30年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号			
使途項目	資料購入費		
使途内容			
調査年月日 (購入年月日)	平成30年 12月 14日(金) ~ 平成 年 月 日()		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費	円	円
		円	円
		円	円
		円	円
	調査費	円	円
		円	円
		円	円
		円	円
		円	円
	64,800 円	64,800 円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合計額	64,800 円	64,800 円	
備考			

(注意)
研究研修費、調査費、旅費、広報費(広報活動)、広聴費(意見聴取会)等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 真政クラブ 】

領収書貼付用紙

使 途	資料購入費
<p>【貼付欄】</p> <p style="text-align: center;">別紙のとおり</p>	

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名

【 真政クラブ 】

請求日	平成 30.10.1 日
請求番号	8571595

請求書

松江市議会
真政クラブ 様

請求金額 **64,800 円**
(消費税等 4,800 円を含む)

請求期間 平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日



〒104-8478
東京都中央区
株式 時事通信社
電 話 03-5561-1111

種類	[配信先]	数量	月額	月数	請求金額	消費税等
AMP(時事行財政情報 E-4)	基本料金	1	10,000	6	60,000	4,800
合計					60,000	4,800

この件についてのお問合せは、 松江支局 までお願い致します。(TEL 0852-21-3594)

払込金受入票(振込依頼書)

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

<input type="checkbox"/> 口座番号加入者名 株式会社 時事通信社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 6 4 8 0 0
振込先	銀行 支店
普通預金口座番号	
ご依頼人	おところ・おなま 690-8540 島根県松江市末次町 86 松江市議会 真政クラブ
料金	日 附 印
備考	

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。
切り取らないでください。

<input type="checkbox"/> 口座番号加入者名 株式会社 時事通信社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 6 4 8 0 0
振込先	銀行 支店
普通預金口座番号	
ご依頼人	おところ 690-8540 島根県松江市末次町 86 松江市議会 真政クラブ 様
料金	(消費税込み) 円 日 附 印
備考	

(ゆうちょ銀行)

(様式4-1)

平成30年度 政務活動費使用簿 (会派)

管理番号			
使途項目	広報費		
使途内容			
調査年月日 (購入年月日)	平成31年3月18日(月) ~ 平成 年 月 日()		
政務活動費 支出額及び充当額	【項目別支出内訳】	支出額	(うち政務活動費充当額)
	研究研修費 .	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	調査費 .	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	旅費 .	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	.	円	円
	<input type="checkbox"/> 資料作成費 .	865,601 円	805,009 円
	<input type="checkbox"/> 資料購入費 .	円	円
	<input type="checkbox"/> 資料購入費 .	円	円
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費 .	円	円
	<input type="checkbox"/> 広聴費 .	円	円
合計額		865,601 円	805,009 円
備考	真政クラブ会報 按分率 93%		



(注意)
研究研修費、調査費、旅費、広報費(広報活動)、広聴費(意見聴取会)等に係る経費の場合、備考欄に参加議員名を記入すること

会派名 【 真政クラブ 】

領収書貼付用紙

使 途	広報費
-----	-----

【貼付欄】

領 収 書		No. 047459																
真政クラブ 様																		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>一 金</td> <td>百</td> <td>十</td> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>		一 金	百	十	万	千	百	十	円			8	6	5	6	0	1	
一 金	百	十	万	千	百	十	円											
		8	6	5	6	0	1											
<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>御入金内訳</td><td>現金</td></tr> <tr><td></td><td>小切手</td></tr> <tr><td></td><td>手形</td></tr> <tr><td></td><td>振込</td></tr> <tr><td></td><td>相殺</td></tr> </table>	御入金内訳	現金		小切手		手形		振込		相殺	但し 上記金額正に領収いたしました 平成 31 年 3 月 18 日							
御入金内訳	現金																	
	小切手																	
	手形																	
	振込																	
	相殺																	
<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>抜者印</td><td></td></tr> </table>	抜者印		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>内</td><td>印刷物代金</td><td>円</td></tr> <tr><td>訳</td><td>消費税額</td><td>円</td></tr> <tr><td></td><td>立替金</td><td>円</td></tr> <tr><td></td><td>カード・ハガキ</td><td></td></tr> </table>	内	印刷物代金	円	訳	消費税額	円		立替金	円		カード・ハガキ		 千鳥印刷株式会社 代表取締役 久 家 松江市春日町344-2 TEL21-7155		
抜者印																		
内	印刷物代金	円																
訳	消費税額	円																
	立替金	円																
	カード・ハガキ																	

(注意)

- この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
- 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

会派名 【 真政クラブ 】

全体面積 4,186.72 cm² (1,046.68 (27.4 × 38.2) cm² × 4 面)

▲除外対象面積

写真(1 頁 - シ 掲載) 264 cm² (24 cm × 11 cm)

文章中

① 5.5 cm × 2 cm = 11 cm²

② 5.5 cm × 1.5 cm = 8.25 cm²

◆計算

全体面積 — 除外面積

4,186 cm² — 284 cm²

= 3,902 cm²

割合 : 対象面積 93% 対象外面積 7%

松江 市議会

真政クラブ

発行：平成31年3月
連絡先：松江市末次町56
真政クラブ
発行責任者：貴谷麻以
TEL：0852-55-5065
FAX：0852-55-5533

謙虚・信頼感・胆力・豪放・活力を求めて

会長 南波 いわお

我々真政クラブ一同は、議院内閣制の国会と大統領制の地方議会との仕組みの違いを十分に理解し行動しなければならぬと思っています。

●課題を考慮判断するとき、広い範囲の視点から見る「鳥の目」をもつことで謙虚になれます。

鳥根県は広い、日本は広い、世界は広い、「井の中の蛙大海を知らず」になってはいけぬと思います。

●傍若無人な政策、方針などを黙認・追認し、自己の保身のみにしきゅうきゅうとしている議員であつてはならないと思つています。

何のために議員の道を志したのか常に心に問いかけ、自分プラスでなくとも信念をもって行動することが、信頼感に繋がると思っています。この気持ちを買き通すには胆力と豪放さが不可欠と思つています。

●大橋と新大橋間の両岸のまちづくりは、今後の松江市の発展

に欠かせないものと考えています。新大橋の架け替えが現実となつた今先送りにできない課題です。数少ない市街地で生まれ育つた議員として全力で取り組みます。

●境港出雲道路（松江北道路）については松江市議会議員連盟の会長として、また前職の鳥根県土木部技術者の経験も生か

市民が喜ぶ道路の実現を目指し先頭に立つて全力で取り組みます。

●強引に物事が進んだ時にはプレーキ役の役目も果たし市政のかじとり役も果たしていると思つています。新しい会派「真政クラブ」の是非は価値を含め後世が判断することでしょう。後世に問いたいと思つています。

「天下の大事を成そうとするものは地下百尺に埋もれる心持ち」でがんばります。

今後これまで以上のご指導ご鞭撻ご支援を何卒宜しくお願い致します。

持続可能な交通移動手段の確保に向けて

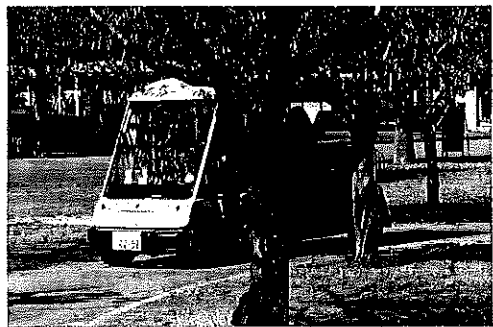
(2018年9月議会 決算総括質疑より)

幹事長 岩本 雅之

【質問】
人口減少社会の中、地域福祉の課題は、多岐多様にわたり、交通弱者を支えるコミュニティバス等、公共交通のあり方が問われています。公益性が高いが、収益性が見込めない事業はしつかりとした事業スキームを構築する必要があると思つています。今後の課題と公共交通の維持・確保及び利用促進に必要な視点とは何かを伺いたいと思つています。

【回答】
今後、高齢化により、公共交通への依存度は、益々高くなると思つています。が、コミュニティバスの運行事業では、現在、約2億円の事業費のうち、運賃収入が14・5%しかなく、運賃財源の確保が難しい状況が続いております。更に、最近では、深刻な運転手不足であり、コミュニティバスのあり方については、抜本的な見直しが迫られています。

地域住民の皆様には、コミュニティバスは、地域の重要な社会基盤である事を認識して頂き、自ら乗車して守るという意識を持ってもらうよう、お願いしたいと思つています。又、地域の



実践に合わせて、持続可能な交通移動手段をどのように確保していくのか、その仕組みについても、自主的、主体的に地域の課題として、住民同士、話し合ってもらいたいと思つております。例えば、今年、電動小型低速車の実証実験が、法吉団地、うぐいす台団地、比津が丘団地、湍北台団地等で先駆的に行われていますが、こうした地域での主体的な取り組みに対して、松江市としては、必要な情報を提供するとともに、共創協働の理念を持つて、一緒に課題解決に取り組んでいく姿勢であります。引き続き、松江圏域全体での活動を支援してまいりたいと思つておりますので、どうぞ、宜しくお願い致します。



「東京一極集中に歯止めを」 地域活性化と議員の責務

石倉徳章

松江市の人口は毎年微減ながら現在約20万3千人を維持している。島根県人口は68万人を割っている。県内の自治体人口が減少する中であり、喜べない一面もある。今なすべきことは人口減少の速度を抑えることである。その為に「東京一極集中に歯止め」に声を大にし要望を継続することが大切である。無論、中心は政治・行政である。人口減少の主因は、少子化や都会への若者の流出が考えられる。結果は言うまでもなく地方の疲弊につながる。島根県も松江市も若者定住の政策に全力を傾注されるが今後も人口減少は進む。少子化対策の視点からも地方から若者の大都市への流出の流れを変えねばならない。地方を若者にとって魅力ある地域にすることであろう。同時に東京など大都市圏から財源の地方移転、国からの権限委譲を推進する必要がある。日本全体の経済成長が進む中、税収は東京に更に配分され地方との差は益々拡大していく。現在国にあって東京から地方に税収の再分配が進められている。東京都の人口一人あたりの住民サービスと地方との差は明確であり、消費税も10%となれば税収は更に東京

に集中するとされる。地方の人口が大都市圏へ移動する時期は大学や専門学校への入学時、高校や大学を卒業し就職する時、そして転職と定年時とされる。地方の高校生を地元

の大学入学枠の設置・拡大と就職時の地元採用枠の推進が必至と考える。その為には産業界の理解と協力、企業誘致等が重要である。更に、若者は無論、定年前後の元気高齢者の移住促進とその人たちの能力活用が効果的と想定している。東京をはじめ大都市は今後急速に高齢化が進展し、医療・介護サービスが大幅に不足するおそれが極めて高いとされる今この政策を実施すべきである。

地方議会・議員は、本来は行政に対し政策提言、議決、行政監視の役割がある。自治体や議会の規模で異なるが、地域の活性化、振興のリーダーとしてその責務を果たすことが益々重要視されると考える。住民生活が安心できる地域づくり、人口減少に伴う諸課題、高齢者対策、交通難問題、農林漁業振興など将来課題は山積している。そして時間の余裕は残されていない。まさに正念場を迎えようとしている。

新時代に備えて、ICT教育（情報技術の利用・活用した教育）の更なる充実を

川島光雅

昭和の時代は、経済成長とそれに伴う生活環境の飛躍的な近代化でした。平成の時代は、バブル崩壊、格差社会への進展、自然災害、原子力発電所事故、携帯電話の普及で出会い系サイト殺人事件、人口減少社会への対応等と、逆にその負の部分に対処に迫られた時代でありました。

来る新時代は、引続き人口減少問題、エネルギー問題、キャッシュレス決済に代表されるようにお金に対する観念の変化、デジタル化や人工知能(AI)の進展でIOT(INTERNET OF THING・情報ネット)による日常生活が変化への対応になりそうです。

その代表が車の自動運転です。中国では2020年(20年に略)には新車の半分は自動運転車に切り替えると言っています。日本でも地域限定で20年には実現したいと考えています。

このように情報ネットとモノが繋がることで生活やビジネス環境が格段に変わってきます。早いうちから子どもたちに情報教育を促す必要があると言われ

「西郷どん」から金融、産業、世界構造の変化の中で松江を生きる 「ザ・松江。文化の誇り、教育、助け合う福祉と、ものづくり」

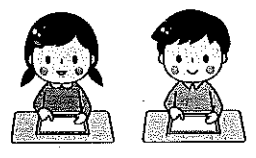
副会長 貴谷麻以

西郷どん、という番組をご覧になりましたか。明治維新、なぜ日本は植民地になることを免れたのでしょうか。アジアの人々はアヘンをヨーロッパに強制配布され、代金を払わないとギロチンにかけられたりしています。日本は、ヨーロッパ諸国が世界を植民地化していた時になぜ鎖国ができたのでしょうか。

答えは技術と文化です。1543年に鉄砲が伝来し、翌年には日本は鉄砲の大量生産に成功。16世紀末日本は世界一の武器大国でした。簡単に侵略はできない。ただし武器は内戦を引き起こすので、豊臣秀吉は刀狩りを行い、日本は徳治主義、文治主義になります。世界一の武器輸出の座を捨てて刀に戻り教育を行いました。すなわち明治維新当時、日本は世界一の教育国でした。武士道もありヨーロッパ商人の賄賂が効かない。だから植民地にすることができなかつたのです。

● 松江は日本そのものです。深い教育や文化があり、私塾があり私設の図書館が多くありま

● 松江は日本そのものです。深い教育や文化があり、私塾があり私設の図書館が多くありま



2019年度

市長への要望を 提出しました

再生可能エネルギー政策

中核市になった松江市において地球温暖化対策として再生可能エネルギーに「全面的に踏み込んだ」施策展開を。

まちづくりの推進

松江駅、かわまちへ、中心市街へ

JR松江駅前北口周辺整備

の早期実現

早期に実現可能な基本構想を取りまとめ地下の空間拡張。

松江駅朝日町伊勢宮町

白濁本町東本町京都

殿町市役所しんじ湖温泉へのまちあるき動線と交通水路の整備

松江駅前北口周辺整備と一体的構想取りまとめる。

松江駅を起点とする、まちあるき観光の充実、交通水路の整備。

新大橋の架け替えと兩岸のまちづくり構想を市が主体となり国県を巻き込んで松江らしい町の実現。

新庁舎周辺のまちづくり構想計画。国道431号線沿いの千鳥公園付近に船が接岸できる階段式護岸や艇庫など安道湖を利用した、かわまちづ

くり構想。

公共施設適正化計画と共創

のまちづくり

行財政改革を推進する上で、民間企業や団体に、公益事業への参画を積極的に公募。その際、魅力的な働き場の創出につなげる。



立地適正化計画策定に向けて

旧松江市の市街地地域における、コンパクトなまちづくりの構築。また周辺集落地域においては、生活に必要な「小さな拠点づくり」を推進。

（サービス機能を明確に示し、金の設定をして、中心市街地とのアクセスを促進する。

大手前通り（城山北公園線）の沿道魅力アップの施策支援構想。

社会資本整備と建設産業対策

洪水や土砂崩壊対策、交通インフラ充実の道路整備など

市民の安心安全確保の公共事業予算。

職人不足、技術者不足が起きている。対策を求め。

各地区からの建設要望。地域力を活用し労働として入夫賃制度を導入し市民の要望を解決していただきたい。また、原材料費を支給する制度があるが、原材料費の種類を増やされたい。

合併後年数が経つ松江市市道認定要綱の基準見直し。

道路改良整備の推進

四季が丘団地に通ずる周辺道路（市道、西川津西尾線）は交通安全上の安全確保が満たされておらず。（特に冬季）

島大裏の文教地区の市道は道路幅員が狭く、直角、丁字路になっており極めて危険。幹線道路に接続する道路新設建設に取り組みを。

松江北道路について集落部の盛り土については町内が分断され集落の形成に支障が出る箇所もあり高架方式としてほしいという意見も。十二分に地域と協議され必要箇所においては国県に要望。

分離発注の推進

工事の品質向上や専門職種企業への育成の観点から、職ごととの分離を推進。

同業種でも諸経費の按分で工事件数を増やし、より多くの業者参入を促進。

年間を通し平準化した工事発注に努める。

地域性を考慮した指名入札。予定価格の事前公表。

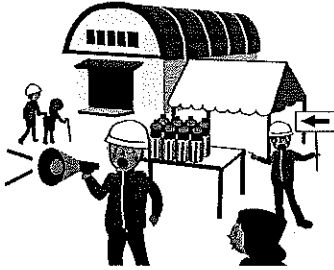
市民への防災対策

地震時、豪雪、浸水、原発事故時の対応を含め、市内全域の防災対策を強化。

市内の避難所、海抜表示、トイレ、授乳設備などを、大きくわかりやすく表示。

県と連携して事業所やコンビニに自家発電機の設置推進を促進。

マンホールトイレや非常用コンロを地域の小公園に拡充設置。



各避難所に毛布、仕切り、担架、飲み水、食糧などの最低限の備えの常備。

旅館、宿泊施設と地域の避難所運営者・消防団等との防災連携や、共同での避難訓練。

中国地方の物流の拠点の一つを松江市に設置できるように運輸業者やコンビニなど事業者に働きかけ。

防災公園の設置。（住民協働のもと）

文化・観光

風格ある日本の代表的観光都市として、大山・中海・宍道湖圏域のみならず、環日本海の中核都市となるよう目標設定と実現プラス情報共有、発信。

ジオパークなど島根半島の魅力発信と、社寺などにまつわる無形民俗文化財の指定と発信支援を行われない。

国県と連携して、文化財の保護・保存と、予算確保。

市民、市、県、国のネットワーク組織づくりや文化・芸術・伝統・歴史の保存と振興を推進。

文化芸術伝統・歴史などの保存振興条例制定に取り組み。

住民、観光客も障がいのある人もない人も移動しやすい街。

JR周辺やまちなかななどのデジタルサイネージや、垂れ幕などの活用。

松江城や町中の観光ガイド

で、松江市全体の観光案内業務の拡充。

宿泊客数の大幅増と戦略。観光宿泊数の適切な目標値設定と実現に見える化。

松江駅から中心市街地各所への導線整備。

フルーツツーリズムやエコツーリズムの食の観光主流化。

観光情報量を大幅に増加させたい。

観光客用冊子や情報表示の多様化、充実。

市役所のホームページと各遺跡や史跡、施設の取り組みがリンクされ、見ることができるような取り組みを拡充。

社寺や観光地、食産業、商店街と連携して引き続き観光産業の活性化。



福祉と教育の整備と目標把握

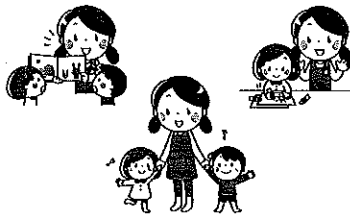
子どもたちに海外交流体験。先生も子どもたちも自らのまちの文化を伝えることができる教育の推進。

子どもたちの地域の活躍機会を促進し、児童クラブ等の子供たちが、公的施設を安価

- 女性や子供の貧困に一層の注視と支援。
- 女性施策の活性化のために女性を重要ポストへ登用。
- 障害のある子どもたちが自らの才能を発揮できるように企業・学校誘致や作業所の製品の芸術化、販売推進。

豊かな食・医療・健康都市としての整備

- 松江市の食糧自給率の大幅増を目標に地産地消。
- 無人市やマルシェ、朝市の支援と広報の推進。
- 地元野菜等契約店舗や契約旅館ネットワークの組織作りと、販売支援。
- TPP参加問題に対処するために専門官と担当係りを設置し農業生産者、市民への説明責任を強化。
- 有害鳥獣対策施策を強力に推進。山陰地方のジビエ料理のブランド化。
- 看護師、保育士、介護士等の養成支援。
- 医療従事者の働き方改革。



- 介護事業サービスで生じるおむつゴミの処理費用助成制度。
- 災害時における福祉避難所をしっかりと運営できる体制づくりと、それに伴う環境整備。
- 児童虐待防止に、児童相談所、保健師、民生委員、児童館、保育園、幼稚園、小中学校、社協のケース対応チーム作り。

中小企業活性化策と地場産業の活性化

- 既存の商業系中小企業にも研究開発費研修費の支援の充実。
- 中小企業振興条例を作成された。

平成30年松江市議会一般質問の状況

平成30年2月定例会

南波 いわお 代表質問

- 社会体育の政策部移管
- 小学校外国語活動の先行実施に伴う課題
- 県立高校普通科の校区解消と市立女子高校のあり方
- 平成30年度当初予算関係

岩本 雅之

- 地域密着型特別養護老人ホームの空床利用
- 福祉・看護人材確保対策
- 一時預かり保育
- 福祉とまちづくり・ものづくり

貴谷 麻以

- 不昧公200年祭・ホーランエンヤの広報・展開
- 夜の松江と観光冊子の充実
- 宿泊・民泊・ゲストハウス（空き家対策・中心市街地）
- 子育て・教育のまち
- 医療・看取り・こども 地域包括ケアシステムと健康

平成30年6月定例会

石倉 徳章 代表質問

- 国民健康保険制度の都道府県化
- 介護保険事業計画（第7期）

- 都市計画マスタープラン
- 公共施設適正化
- 教育行政

貴谷 麻以

- 保育園の待機児童問題ー生きること直結する
- 学校と地域の連携、ふるさと教育の周知
- 観光業、アメリカDMO
- 民泊と「車の中で寝る」状況
- 農業の発展と家族経営協定
- 防災避難所運営と男女共同参画（簡易HUGの研修）

平成30年9月定例会

南波 いわお 代表質問

- 公共事業費の推移と拡大の必要性
- 大手前通り（城山北公園線）完成後の沿道の魅力アップ
- 松江北道路
- ソフトビジネスパーク道路へのアクセス道路建設
- 松江市総合計画
- 土砂災害
- 地球温暖化

貴谷 麻以

- 高齢社会における土地の境界問題
- 少子高齢化社会における若年

- 女性の定住雇用問題
- 高根原子力発電所3号機の新規稼働問題
- 猛暑における幼稚園・小中学校の空調設備、また公共設備の対策
- 中核市の政策決定過程における倫理性の確保について

平成30年12月定例会

石倉 徳章 代表質問

- 東京一極集中排除対応
- まちづくり政策
- 農業問題
- 公共事業の推進と自然災害対応
- 消費税10%へのアップ対応と行財政改革

川島 光雅

- 総合戦略
- 消費税増税対策と経済対策
- 出入国管理法の改正
- 防犯監視カメラの設置
- 定年延長制
- 流通拠点のまちづくりと昭和三十一年の将来的活用

貴谷 麻以

- 2019年の10連休の保育等の対策
- 原子力行政のあり方
- 大橋川下流部のまちづくり
- 農業政策の展開と販売促進
- ホーランエンヤその他の広報と準備、市内のキャパシティ（駐車場と宿泊）
- エリアマネージメントのマネージャー育成とまちづくり

編集後記

真政クラブでは、松江市全体について広範囲の政策をメンバーで協議し、31年度の市長要望として提案しました。10ページに渡る市長要望ですので全部は掲載できませんが、宍道湖・大橋川のかわまちづくりや歩くまちづくり、農林水産業、子どもたちの伝える力、理解し合うコミュニケーション力、防災、土木や文化、子育て、女性や年配者のことなど、市の方針として2月議会でも広く答えていただいています。そして中小企業振興条例や地域交通、文化や都市計画などメンバーがそれぞれ頑張ってきたものも実を結んできています。今後も住みやすい松江市になるよう精進してまいりますのでよろしくご支援ご協力ご指導をお願い致します。

(貴谷 麻以)

